

令和8年度 真栄小学校「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：25510

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

「学ぶ力」	
実 態	課 題
◇主体性を伸ばすことを意識した授業づくりを通して、最後まで粘り強く課題に取り組む力が高まってきた。 ◇授業で身に付けた知識や技能を発揮し、場面にふさわしい表現方法で伝え合う力が伸びてきた。	◇諦めずに、飽きずに課題に自分から取り組む力をさらに伸ばしていく。 ◇「できて終わり」ではなく、課題を自分事として捉えたり、相手の立場になって考えたりして、主体的対話的に学びを深めようとする関係性の構築を目指す。
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
◇札幌市の共通指標の「自分にはよいところがある」「自分が必要とされていると感じる」等の相互承認に関連する項目において、肯定的な回答が増加している。その一方で「意見の違う人とも、よく話し合おうとしている」という項目ではやや課題が見られる。縦割り活動や行事の取組などの異学年交流により、自己肯定感が高まっている一方で、話し合い、意見をまとめる力については、さらなる向上を目指して活動の充実をはかっていく必要がある。	
「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力	
向上心をもって学び合う力	
取 組	課 題
課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
(1) 研究主題を「学んで、おもしろい！」～向上心をもって学び合う子どもの育成、向上心をもって学び合う集団作り。 ・「できる」よりも「頑張っている」をほめる。 ・「同じ」で安心することよりも「違い」を楽しむことを価値づける。 (2) 教師も子どもも「過程」を楽しみ、一緒に学びを充実させる授業作り ・既習や経験、経験則を根拠として引き出すような提示を工夫する。 ・思考を整理し、語りたくなる道筋を提示する。 ・個性が発揮され、追求を楽しむ交流を促す。 ・向上心が刺激される振り返りと評価を行う。	①児童が自分たちの力でよりよい学校をつくる取組の充実 ・「優しい先輩」と「憧れる後輩」でつながる異学年交流 ・学年、ブロック内で互いに認め合い高め合う場を設定 ②よりよい学級にするための学級活動の充実 ・自分たちが大切にされていることを実感できる学級活動 ③自分たちの成長を振り返る場の設定 ・パートナー校で様式を揃えたキャリアパスポートの活用。
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について	
◇場面や活動に応じた1人1台端末の効果的な活用 ・研修や情報共有を通して、教師一人一人の情報活用に関する指導力を高め、6年間を見通した活用を行っていく。	

＜本プログラムの実行に向けて＞

新年度	【一人一人の教職員】	【学校全体】	次年度へ
◇本プログラムの共有 ・職員会議 研究全体会 ・参観懇談 ・パートナー校間研修	◇日々の研修を中心とした教育活動 ◇学年研修、札教研 ◇年次研修、専門研修等 ◇各自の研修…研究会への参加など	◇実践交流／校内研修 ◇学年経営案交流 ◇子どもの育ちを共有 ・学年 ・校内 ・パートナー校	◇学校評価 ◇成果と課題を共有 ・学校評価全体会 ◇令和9年度分掌運営計画